

チャイムが鳴るよ

五月の生活もくひょうは、「チャイムの合図をまもろう」です。ぼくたちの小学校には、『けごやっ子、三つの生活のめあて』というものがあり、時間をまもることとは、ふだんから気をつけています。でも、ぼくたちの学級では、大きゅうけいがおわった後の三時間目のじゅぎょうは、チャイムの合図がまもられていませんでした。チャイムが鳴るぎりぎりまで、うんどうじょうであそんでいたからです。

学校朝会で、生活もくひょうについての話を聞きながら、ぼくは、
（生かつもくひょうになったのだから、三時間目のじゅぎょうにまにあうようにがんばろう。そのためには、チャイムが鳴る前に教しつに入らないと……。）
と思いました。

大きゅうけいになりました。きょうは、ぼくがたのしみにしていた手うちやきゅうをすることになっていきます。ボールをもつていそいで、うんどうじょうに出ました。ヒットをたくさんうって、もりあがりました。

キーンコーンカーンコーン。
チャイムが鳴りました。ぼくは、
「ええっ、ぼくのぼんがまだ来ていないのに。もうちよつとやろうよ。」

と言いました。まさおくんが、
「でも……。」
と言いましたが、みんなも、すぐにやめませんでした。

教しつに入ってみると、ほかのみんなは



もう、せきについていました。みんながぼくたちのほうを見ました。ぼくは、下をむいてしまいました。

つぎの日の大きゅうけいの時間になりました。ぼくたちは、また、手うちやきゅうをすることになりました。どちらのチームにも点が入って、もりあがりしました。いよいよ、ぼくのばんです。

（ようし、うつぞ。）

と、はりきっていました。そのとき、まさおくんが、

「もうやめて教しつに入ろうよ。後五分で、チャイムが鳴るよ。また間に合わなくなるよ。」

と言いました。まわりを見ると、女の子たちが、あそぶのをやめて、教しつに入っていました。ぼくは

（どうしよう……。）

と思いました。



みんなと同じようにぼくたちも、やきゅうをやめて、教しつに入りました。まだ時間があったので、トイレに行き、手あらいうがいをして、せきにつきました。ちようどチャイムが鳴りました。まわりを見ると、みんなもせきについていました。先生が、

「きようは、みんなチャイムをまもることができたね。みんながそろってじゅぎようがはじめられるので、とても気もちがいいです。」

と言われました。ぼくもなんだか、いい気もちになりました。